

人参(ニンジン)について

薬用人参とされるものは中国東北部から朝鮮半島にかけて自生するウコギ科の植物です。現在、野生のものは極めてまれで中国吉林省・北朝鮮・韓国の山中で発見されたものを野山参と呼び非常に高価な値で取引されています。

ニンジン：Panax ginseng

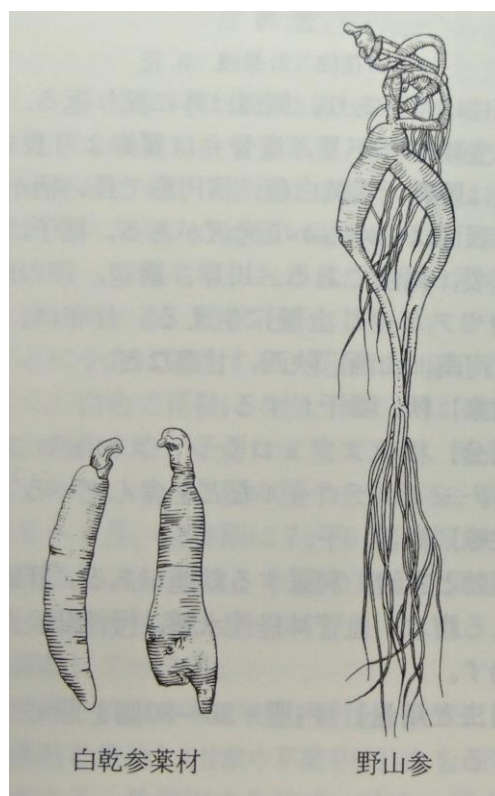
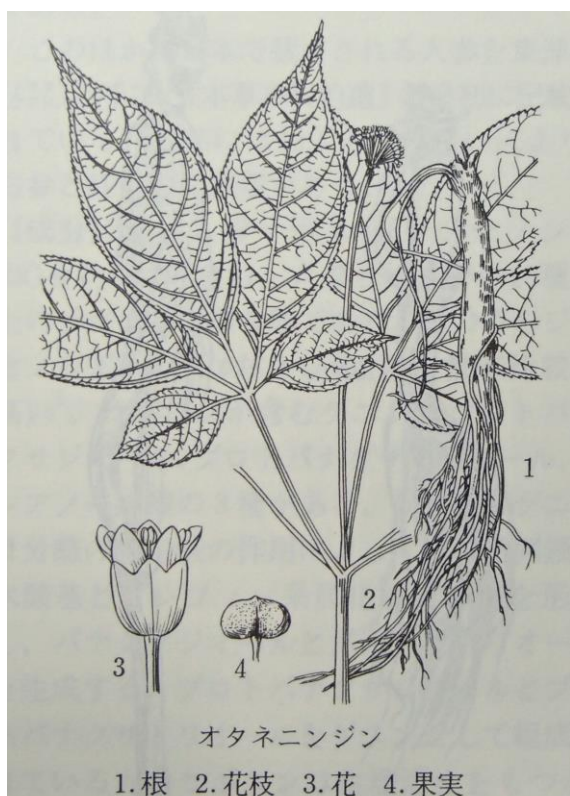
成分：人参サポニン（ジンセノイドなど、）

効能：抗疲労・抗ストレス作用 強壮作用 降血糖作用など、

漢方では補気薬として胃腸の働きを増進させ元気を補う薬として用いられます。

中薬大辞典では、大いに元気を補う、脱を固め津液を生じる、神を安らかにするなどの効能があるとされ臨床応用として下記の効用を示しています。

疲労虚損、小食、倦怠、反胃吐食、悪心嘔吐、大便滑泄、虚咳喘促、自汗暴脱、驚悸、健忘症、陰萎、頭痛眩暈、頻尿、消渴、婦女崩漏、小児ひきつけ、一切の気血津液の不足を治す。



日本には奈良時代に朝鮮(高麗)からの貢献品として伝わります。そのため朝鮮人参とか高麗人参の名で取引されました。非常に高価なものでしたので江戸時代には粗悪なものや偽物が出回り徳川幕府は種を近縁大名に配布し栽培することを奨励します。その為、日本では御種人参(オタネニンジン)と呼ばれるようになります。